

市民と議会

つながる

パルテノン多摩
共同事業体

たま市議会だより
編集会議

パルテノン多摩指定管理者の
パルテノン多摩共同事業体
に聞きました

編集会議

まず初めに館長さんご自身のこれまでの経歴・ご活躍についてお聞かせください。

栗原館長

学生時代から劇場に行くことが好きで劇場に関わる活動をしたいと思っていました。

大学4年の時に演劇制作事務所に入ったのが演劇に関わる仕事の原点です。その後、劇団四季の社員を経て、渋谷にある複合文化施設・Bunkamuraの準備室に入り20年以上運営や舞台芸術の制作に携わっていました。

そして約13年前からこちらに着任するまでは兵庫県立芸術文化センターで演劇などの企画制作、劇場運営の仕事をしてきました。

編集会議

大規模改修を終えてパルテノン多摩がどのように生まれ変わったのでしょうか。

栗原館長

大ホールでは壁面に木製の加工を施したこと等によってさらに豊かな音が生まれるようになりました。また、座席が広くなりゆったりと座っていただけるようになりました。

また、車椅子席を25席用意したことや、楽屋とホールに車椅子でスムーズに行き来できるようになったことが改修のポイントのひとつです。

そして、大ホールと小ホール間の壁が取り払われてロビーが開放的になりました。また、オープンスタジオという新しいスペースや、4階にも新しく子どものための施設(Olive)ができたので多くの市民に気軽に使っていただける施設になりました。



こどもひろばOLIVE

編集会議

リニューアルオープン後のパルテノン多摩の主催事業としてはどのようなものを考えているのでしょうか。

栗原館長

コロナ禍で生活様式が変わったこともあり、都心に出かけなくても地元でいろいろな公演を楽しんでいただけるようにと考えています。具体的には読売日本交響楽団による特別演奏会や伝統芸能の公演として野村万作さん、萬斎さん、裕基さんの三代による三番叟(さんばそう)の上演などを予定しています。また、お子様連れのご家族にも、大人だけでも楽しんでいただける企画としてキッズ&ファミリーコンサートも上演します。

編集会議

今回、指定管理者は複数の企業で構成されたパルテノン多摩共同事業体が行いますが、その構成企業とそれぞれの役割や強みについてお聞かせ下さい。



大ホール

今年の7月にリニューアルオープンをするパルテノン多摩が、大規模改修を経てどのように変わったのか気になる市民の方も多いのではないのでしょうか。

今回、たま市議会だより編集会議は、3月27日のプレオープン直前のお忙しい中、新しい館長として着任された栗原喜美子さんに、生まれ変わるパルテノン多摩についてお話を伺いました。



写真中央が栗原館長

栗原館長

4つの団体で構成されており、公益財団法人多摩市文化振興財団は事業と総務を担っています。株式会社JTBコミュニケーションデザインは様々な文化施設の運営に携わっている企業なので、運営・企画といったセクションを担っていただき、お客様対応や貸館対応など館全体のオペレーションをしていただきます。野村不動産パートナーズ株式会社は文化施設の維持管理、警備といった裏方の部分を担っていただきます。最後に株式会社フラットステージはパルテノン多摩発足当時から舞台技術で支えていただいている企業です。

編集会議

今後パルテノン多摩に多くの人に来ていただくためにどのような工夫をして集客力を高めようとお考えですか。

栗原館長

工事での休館や、コロナ禍によって劇場から離れてしまった皆さんが戻っていただくことにまず力を入れる必要があります。そのために、今まではオーケストラしか聞いたことがなかった方にも多彩な公演を楽しんでいただけるように、様々なジャンルの魅力ある公演を企画していこうと思っています。

アウトリーチの事業も必要ですが、まずは安定した運営のために収益性も重視しながら、皆さんに触れていただく舞台芸術が増えるような努力をしていきます。

またパル多摩エコールという講座事業を作りましたので、多摩市内のカルチャーセンターなどで行われていないような講座を行い、老若男女が楽しめるよう展開していきます。

編集会議

この先、館長としてパルテノン多摩をどうしていきたいのか、抱負や展望などがあればお聞かせください。

栗原館長

多くの市民に使っていただく施設ではありますが、多摩市の活性化のためにも、多摩市以外の広域から来館していただけるような施設にしていきたいと考えています。多摩市の近隣市はもちろんのこと、23区の方や近隣県からもおいでいただけるように広報努力をしていきたいと思っています。

今の1番の課題はコロナ禍対策です。パルテノン多摩に来た方が感染予防対策に気持ちよくご協力していただけるような努力をして、安心してご利用いただける環境を整えていきたいと思っています。